

樹名板作製 その1 (調査&観察シートの作成)

◇工種/樹名板作製

作業手順/Point!

要所/Check✓

1. 樹種の選択と植物の採取



- 校内に植栽されている樹木から樹種をひとつ選択する。
- 実際に植えられている場所に行き、植物の枝葉を採取する。

- 葉だけでなく枝から剪定して採取する。
- 虫食いや病気等に侵されていない良質な葉を選ぶ。
- 葉写しをする時は葉脈がはっきりしている葉を選ぶ。

2. 樹木調査シートの作成



- 採取した植物の名前が正しいか図鑑等で調べる。
- 学名や和名、漢名が正しいか複数の図書で確認する。

- インターネットの情報ではなく書籍等から引用し、出典元を明らかにする。
- 植物の歴史について調べることで、知識がより深まる。

3. 葉っぱ観察シートの作成

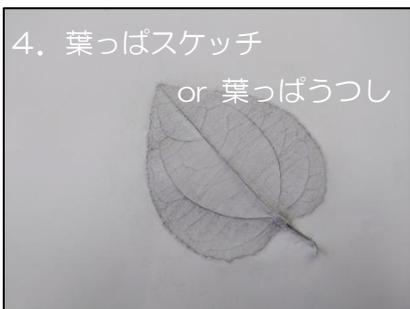


- 葉の表面や裏側をルーペで観察し特徴を見つける。
- 五感をフル稼働して、その植物にしかない個性を探す。(触感や香り等)

- 観察して気付いたことをメモやスケッチとして記録し、葉の特徴をまとめる。
- 葉の部位ごとの名称を記載し覚えた知識を活用する。

4. 葉っぱスケッチ

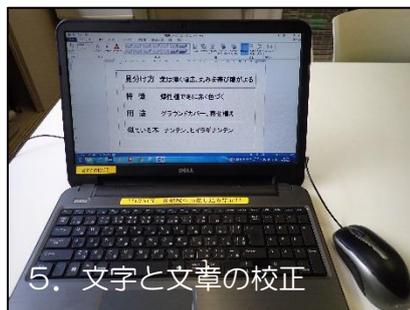
or 葉っぱうつし



- 下地に紙を一枚しき、その上に葉を裏にして置く。その際、表面にノリを塗り固定する。その上に葉っぱ観察シートを載せ、鉛筆で葉の有る辺りをこする。

- 一枚の葉を忠実に写しとることで、葉の特長をそのまま伝えることができる。
- 葉っぱをスケッチをして、それをカーボン紙で転写してもよい。

5. 文字と文章の校正



- 樹名板の裏面に記載する内容は文字数が決まっているため、シンプルかつ効果的な文章に仕上げる。

- 分類方法や記載内容に誤りがないか再度確認する。
- 正しいことを正しく伝えることが何より大事な作業。